

特別会計

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計は、富根、仁鮎地区を対象に給水事業を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
21年度	48,166,000	47,659,142	47,657,142	2,000	98.9	98.9
20年度	26,167,000	26,066,446	26,063,850	2,596	99.6	99.6
比較増減	21,999,000	21,592,696	21,593,292	-596	-0.7	-0.7
増減率	84.1	82.8	82.8	-23.0	—	—

当年度の決算額は、歳入47,659,142円、歳出47,657,142円、歳入歳出差引額は2,000円となっている。前年度と比較して歳入21,592,696円(82.8%)、歳出21,593,292円(82.8%)それぞれ増となっている。これは、二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業費の増によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	21,247,000	20,900,550	20,900,550	0	0	100.0
国庫支出金	17,115,000	17,115,000	17,115,000	0	0	100.0
財産収入	8,000	8,766	8,766	0	0	100.0
繰入金	9,794,000	9,632,230	9,632,230	0	0	100.0
繰越金	2,000	2,596	2,596	0	0	100.0
歳入合計	48,166,000	47,659,142	47,659,142	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は20,900,550円で、給水使用料等である。

国庫支出金の収入済額は17,115,000円で、二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業に伴うものである。

繰入金の収入済額は9,632,230円で、一般会計及び簡易水道基金繰入金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
簡易水道費	43,348,000	42,839,142	0	508,858	98.8
公債費	4,818,000	4,818,000	0	0	100.0
歳出合計	48,166,000	47,657,142	0	508,858	98.9

簡易水道費の支出済額は42,839,142円で、簡易水道事業の指定管理料等のほか、当年度から二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業を実施したことにより、前年度と比較して21,593,292円(101.6%)の増となっている。

公債費の決算額は4,818,000円で、償還利子である。

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計は、事業認可区域を対象に下水道事業を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
21年度	2,728,306,000	2,510,028,385	2,502,367,160	7,661,225	92.0	91.7
20年度	2,336,626,000	2,080,934,559	2,075,079,785	5,854,774	89.1	88.8
比較増減	391,680,000	429,093,826	427,287,375	1,806,451	2.9	2.9
増減率	16.8	20.6	20.6	30.9	—	—

当年度の決算額は、歳入2,510,028,385円、歳出2,502,367,160円、歳入歳出差引額は7,661,225円となっている。前年度と比較して歳入429,093,826円(20.6%)、歳出427,287,375円(20.6%)それぞれ増となっている。これは、中川原中継ポンプ場増改築工事費等の増によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	39,809,000	51,694,860	41,442,470	1,194,120	9,058,270	82.1
使用料及び手数料	327,526,000	336,909,457	330,460,412	462,977	5,986,068	98.2
国庫支出金	676,135,000	675,790,025	566,390,025	0	109,400,000	83.8
繰入金	444,441,000	440,000,000	440,000,000	0	0	100.0
繰越金	5,854,000	5,854,774	5,854,774	0	0	100.0
諸収入	17,241,000	17,980,704	17,980,704	0	0	100.0
市債	1,217,300,000	1,107,900,000	1,107,900,000	0	0	100.0
歳入合計	2,728,306,000	2,636,129,820	2,510,028,385	1,657,097	124,444,338	95.3

分担金及び負担金の収入済額は41,442,470円で、受益者負担金である。受益者負担金の不納欠損額は1,194,120円で、前年度と比較して310,450円(35.1%)の増となっている。

使用料及び手数料の収入済額は330,460,412円で、下水道使用料等である。平成16年度における下水道使用料の賦課漏れ160件 5,312,001円に対する納付状況は、当年度末までに完納が151件、分割納付等が9件となっており、納入済額の合計は4,808,597円、収入率は90.5%となっている。

国庫支出金の収入済額は566,390,025円で、下水道事業費補助金等である。中川原中継ポンプ場増改築工事等に伴い、前年度と比較して201,790,025円(55.3%)の増となった。

繰入金の収入済額は440,000,000円で、一般会計からの繰入金である。

市債の収入済額は1,107,900,000円で、このうち75,700,000円は借換債となっている。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	1,831,339,000	1,605,651,128	218,800,000	6,887,872	87.7
公 債 費	896,967,000	896,716,032	0	250,968	99.9
歳 出 合 計	2,728,306,000	2,502,367,160	218,800,000	7,138,840	91.7

総務費の支出済額は1,605,651,128円で、一般管理費のほか、終末処理場管理費、管渠及び施設整備工事費等の下水道事業費である。中川原中継ポンプ場増改築工事等により、前年度と比較して399,957,286円(33.2%)の増となっている。

予算額には、前年度からの繰越額257,000,000円のほか、翌年度へ繰越明許費として繰越した218,800,000円が含まれている。

予算流用は23件で、3,056,477円であった。

下水道事業における建設改良費と市債の借入額及び公債費の推移は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
建設改良費	696,800	793,900	562,900	893,500	1,310,600
市債借入額	510,600	680,000	1,599,000	876,200	1,107,900
公債費(元金)	505,909	499,829	1,565,681	664,964	689,642
市債残高	9,068,092	9,248,263	9,281,582	9,492,818	9,911,076

※市債借入額及び公債費(元金)には、それぞれ借換債及びそれに伴う償還金が含まれる。

農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計は、事業認可区域を対象に農業集落排水事業を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
21年度	14,459,000	14,602,669	14,322,015	280,654	101.0	99.1
20年度	16,097,000	16,102,473	15,974,237	128,236	100.0	99.2
比較増減	-1,638,000	-1,499,804	-1,652,222	152,418	1.0	-0.1
増減率	-10.2	-9.3	-10.3	118.9	—	—

当年度の決算額は、歳入14,602,669円、歳出14,322,015円、歳入歳出差引額は280,654円となっている。公債費等の減により、前年度と比較して歳入1,499,804円(8.3%)、歳出1,652,222円(10.3%)、それぞれ減となっている。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	3,396,000	3,460,914	3,460,914	0	0	100.0
繰入金	10,934,000	10,934,000	10,934,000	0	0	100.0
繰越金	128,000	128,236	128,236	0	0	100.0
諸収入	1,000	79,519	79,519	0	0	100.0
歳入合計	14,459,000	14,602,669	14,602,669	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は3,460,914円で、農業集落排水使用料等である。

繰入金の収入済額は10,934,000円で、一般会計繰入金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
農業集落排水費	5,337,000	5,200,676	0	136,324	97.4
公債費	9,122,000	9,121,339	0	661	99.9
歳出合計	14,459,000	14,322,015	0	136,985	99.1

農業集落排水費の支出済額は5,200,676円で、処理場等維持管理業務委託料等である。

公債費の支出済額は9,121,339円で、前年度と比較して1,159,803円(11.3%)の減となっている。

予算流用は1件で、63,677円であった。

浄化槽整備事業特別会計

浄化槽整備事業特別会計は、二ツ井地域内を対象に浄化槽整備事業を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
21年度	162,978,000	162,309,490	162,116,808	192,682	99.6	99.5
20年度	150,362,000	150,400,712	150,129,452	271,260	100.0	99.8
比較増減	12,616,000	11,908,778	11,987,356	-78,578	-0.4	-0.3
増減率	8.4	7.9	8.0	-29.0	—	—

当年度の決算額は、歳入162,309,490円、歳出162,116,808円、歳入歳出差引額は192,682円となっている。前年度と比較して歳入11,908,778円(7.9%)、歳出11,987,356円(8.0%)、それぞれ増となっている。これは、合併処理浄化槽設置工事費の増等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	7,861,000	7,861,875	7,861,875	0	0	100.0
使用料及び手数料	46,139,000	47,642,320	46,179,355	161,490	1,301,475	97.3
国庫支出金	23,317,000	23,317,000	23,317,000	0	0	100.0
繰入金	56,588,000	55,880,000	55,880,000	0	0	100.0
繰越金	271,000	271,260	271,260	0	0	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	—
市債	28,800,000	28,800,000	28,800,000	0	0	100.0
歳入合計	162,978,000	163,772,455	162,309,490	161,490	1,301,475	99.2

分担金及び負担金の収入済額は7,861,875円で、浄化槽設置事業費分担金である。
 使用料及び手数料の収入済額は46,179,355円で、浄化槽使用料等である。不納欠損額は161,490
 円で、前年度と比較して3,360円の増である。

国庫支出金の収入済額は23,317,000円で、循環型社会形成推進交付金のほか、浄化槽PFI
 事業可能性調査業務委託費補助金である。

繰入金の収入済額は55,880,000円で、一般会計繰入金である。

市債の収入済額は28,800,000円で、特定地域生活排水処理事業債となっている。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
事業費	129,156,000	128,345,924	0	810,076	99.4
公債費	33,822,000	33,770,884	0	51,116	99.8
歳出合計	162,978,000	162,116,808	0	861,192	99.5

事業費の支出済額は128,345,924円で、合併浄化槽清掃維持管理業務委託料、合併処理浄化槽
 設置工事費、浄化槽PFI事業可能性調査業務委託料等である。合併処理浄化槽設置工事費の
 増等により、前年度と比較して17,567,506円(15.9%)の増となっている。

公債費の支出済額は33,770,884円で、前年度と比較して5,580,150円(14.2%)の減となっ
 ている。

予算流用は4件で、514円であった。

浅内財産区特別会計

浅内財産区特別会計は、浅内財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
21年度	2,803,000	2,805,212	2,464,655	340,557	100.1	87.9
20年度	6,991,000	7,039,514	6,903,768	135,746	100.7	98.8
比較増減	-4,188,000	-4,234,302	-4,439,113	204,811	-0.6	-10.9
増減率	-59.9	-60.2	-64.3	150.9	—	—

当年度の決算額は、歳入2,805,212円、歳出2,464,655円、歳入歳出差引額は340,557円となっている。前年度と比較して歳入4,234,302円(60.2%)、歳出4,439,113円(64.3%)、それぞれ減となっている。これは、前年度に送電線線下接近木伐採補償金の収入があったこと等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	1,573,000	1,574,466	1,574,466	0	0	100.0
繰 入 金	1,095,000	1,095,000	1,095,000	0	0	100.0
繰 越 金	135,000	135,746	135,746	0	0	100.0
歳 入 合 計	2,803,000	2,805,212	2,805,212	0	0	100.0

財産収入の収入済額は1,574,466円で、土地貸付収入等である。

繰入金の収入済額は1,095,000円で、財産区基金繰入金である。

前年度は、送電線線下接近木伐採補償金等による諸収入5,034,420円があったが、当年度で諸収入はないため、前年度と比較して当該諸収入分5,034,420円の減となっている。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	307,000	223,141	0	83,859	72.7
総 務 費	1,513,000	1,258,514	0	254,486	83.2
諸 支 出 金	983,000	983,000	0	0	100.0
歳 出 合 計	2,803,000	2,464,655	0	338,345	87.9

管理会費の支出済額は223,141円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は1,258,514円で、一般管理費のほか、財産管理費である。

諸支出金の支出済額は983,000円で、自治会交付金である。

前年度は、上述の諸収入等による財産区基金積立金5,093,000円があったが、当年度で積立金はないため、前年度と比較して当該積立金分5,093,000円の減となっている。

常盤財産区特別会計

常盤財産区特別会計は、常盤財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
21年度	5,023,000	6,774,903	4,604,995	2,169,908	134.9	91.7
20年度	6,477,000	6,489,413	6,341,941	147,472	100.2	97.9
比較増減	-1,454,000	285,490	-1,736,946	2,022,436	34.7	-6.2
増減率	-22.4	4.4	-27.4	1,371.4	—	—

当年度の決算額は、歳入6,774,903円、歳出4,604,995円、歳入歳出差引額は2,169,908円となっている。前年度と比較して歳入は285,490円(4.4%)の増、歳出は1,736,946円(27.4%)の減となっている。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県支出金	257,000	257,947	257,947	0	0	100.0
財産収入	177,000	1,926,684	1,926,684	0	0	100.0
繰入金	4,145,000	4,145,000	4,145,000	0	0	100.0
繰越金	147,000	147,472	147,472	0	0	100.0
諸収入	297,000	297,800	297,800	0	0	100.0
歳入合計	5,023,000	6,774,903	6,774,903	0	0	100.0

県支出金の収入済額は257,947円で、これは森林環境保全整備事業費補助金である。

財産収入の収入済額は1,926,684円で、分収林売払収入等である。年度末に見込んでいなかった分収林の売払収入があったことから、予算額に対して収入済額が大きくなっている。

繰入金の収入済額は4,145,000円で、財産区基金繰入金である。

諸収入の収入済額は297,800円で、森林整備地域活動支援交付金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管理会費	290,000	245,605	0	44,395	84.7
総務費	2,505,000	2,131,390	0	373,610	85.1
諸支出金	2,228,000	2,228,000	0	0	100.0
歳出合計	5,023,000	4,604,995	0	418,005	91.7

管理会費の支出済額は245,605円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は2,131,390円で、下刈作業委託等、財産管理費である。

前年度と比較すると、諸支出金(2,228,000円)が自治会交付金により増となったものの、財産区基金積立金(前年度4,470,000円)が減となったこと等により、歳出全体では1,736,946円(27.4%)の減となっている。

鶴形財産区特別会計

鶴形財産区特別会計は、鶴形財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
21年度	3,677,000	3,679,063	3,344,529	334,534	100.1	91.0
20年度	41,078,000	41,078,581	40,946,742	131,839	100.0	99.7
比較増減	-37,401,000	-37,399,518	-37,602,213	202,695	0.1	-8.7
増減率	-91.0	-91.0	-91.8	153.7	-	-

当年度の決算額は、歳入3,679,063円、歳出3,344,529円、歳入歳出差引額は334,534円となっている。前年度と比較して歳入37,399,518円(91.0%)、歳出37,602,213円(91.8%)、それぞれ減となっている。これは、前年度に土地売払収入があったこと等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	233,000	234,224	234,224	0	0	100.0
繰 入 金	3,313,000	3,313,000	3,313,000	0	0	100.0
繰 越 金	131,000	131,839	131,839	0	0	100.0
歳 入 合 計	3,677,000	3,679,063	3,679,063	0	0	100.0

財産収入の収入済額は234,224円で、前年度では土地売払収入があったことから、前年度と比較して40,530,340円(99.4%)の減となっている。

繰入金の収入済額は3,313,000円で、財産区基金繰入金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	233,000	137,306	0	95,694	58.9
総 務 費	1,644,000	1,407,223	0	236,777	85.6
諸 支 出 金	1,800,000	1,800,000	0	0	100.0
歳 出 合 計	3,677,000	3,344,529	0	332,471	91.0

管理会費の支出済額は137,306円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は1,407,223円で、財産管理費の賃金等である。

諸支出金の支出済額は1,800,000円で、自治会交付金である。

前年度は、上述の土地売払収入等による財産区基金積立金39,541,000円があったが、当年度で積立金はないため、前年度と比較して当該積立金分39,541,000円の減となっている。

檜山財産区特別会計

檜山財産区特別会計は、檜山財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
21年度	3,627,000	3,628,856	2,912,927	715,929	100.1	80.3
20年度	2,567,000	2,568,731	2,414,831	153,900	100.1	94.1
比較増減	1,060,000	1,060,125	498,096	562,029	0.0	-13.8
増減率	41.3	41.3	20.6	365.2	—	—

当年度の決算額は、歳入3,628,856円、歳出2,912,927円、歳入歳出差引額は715,929円となっている。前年度と比較して歳入1,060,125円(41.3%)、歳出498,096円(20.6%)、それぞれ増となっている。これは、再造林事業委託等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	79,000	79,956	79,956	0	0	100.0
繰 入 金	3,395,000	3,395,000	3,395,000	0	0	100.0
繰 越 金	153,000	153,900	153,900	0	0	100.0
歳 入 合 計	3,627,000	3,628,856	3,628,856	0	0	100.0

財産収入の収入済額は79,956円で、基金利子等である。

繰入金の収入済額は3,395,000円で、財産区基金繰入金である。

②歳出

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	244,000	158,646	0	85,354	65.0
総 務 費	3,383,000	2,754,281	0	628,719	81.4
歳 出 合 計	3,627,000	2,912,927	0	714,073	80.3

管理会費の支出済額は158,646円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は2,754,281円で、再造林事業委託料等、財産管理費である。再造林事業委託料等により、前年度と比較して2,055,085円(293.9%)の増となっている。

前年度は、自治会交付金等の諸支出金1,635,000円があったが、当年度で諸支出金はないため前年度と比較して当該諸支出金分1,635,000円の減となっている。